

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【公開番号】特開2003-199707(P2003-199707A)

【公開日】平成15年7月15日(2003.7.15)

【出願番号】特願2001-401834(P2001-401834)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 1/04

G 0 2 B 23/26

H 0 4 N 7/18

// A 6 1 B 8/12

【F I】

A 6 1 B 1/04 3 7 0

G 0 2 B 23/26 D

H 0 4 N 7/18 M

A 6 1 B 8/12

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月12日(2004.10.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】内視鏡装置及び内視鏡システム

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

体腔内に挿入されるとともに所定の光学系を介して前記体腔内を撮像する内視鏡の前記光学系に関する光学情報を入力する光学情報入力手段と、

前記体腔内の断層画像を表示可能な所定の医療観察装置で得られた断層画像信号を入力する断層画像信号入力手段と、

前記光学情報入力手段からの前記光学情報に基づいて前記断層画像信号入力手段からの前記断層画像信号を処理し、前記内視鏡の前記光学系で得られる観察画像に対応した断層画像信号を得る断層画像信号処理手段と、

を具備したことを特徴とする内視鏡装置。

【請求項2】

体腔内に挿入されるとともに所定の光学系を介して前記体腔内を撮像する内視鏡本体を有する内視鏡システムにおいて、

前記内視鏡本体の前記光学系に関する光学情報を入力する光学情報入力手段と、

前記体腔内の断層画像を表示可能な所定の医療観察装置で得られた断層画像信号を入力する断層画像信号入力手段と、

前記光学情報入力手段からの前記光学情報に基づいて前記断層画像信号入力手段からの前記断層画像信号を処理し、前記内視鏡本体の前記光学系で得られる観察画像に対応した断層画像信号を得る断層画像信号処理手段と、

を具備したことを特徴とする内視鏡システム。

【請求項 3】

前記内視鏡本体は、前記内視鏡システムから着脱自在であり、

前記内視鏡本体の着脱に応じて、前記光学情報入力手段に自動的に前記光学情報を入力する制御部と、

を具備したことを特徴とする請求項 2 に記載の内視鏡システム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、体腔内に挿入されるとともに所定の光学系を介して前記体腔内を撮像する内視鏡装置及び内視鏡システムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するため請求項 1 に記載の内視鏡装置は、体腔内に挿入されるとともに所定の光学系を介して前記体腔内を撮像する内視鏡の前記光学系に関する光学情報を入力する光学情報入力手段と、前記体腔内の断層画像を表示可能な所定の医療観察装置で得られた断層画像信号を入力する断層画像信号入力手段と、前記光学情報入力手段からの前記光学情報に基づいて前記断層画像信号入力手段からの前記断層画像信号を処理し、前記内視鏡の前記光学系で得られる観察画像に対応した断層画像信号を得る断層画像信号処理手段と、を具備したことを特徴とする。

また、請求項 2 に記載の内視鏡システムは、体腔内に挿入されるとともに所定の光学系を介して前記体腔内を撮像する内視鏡本体を有する内視鏡システムにおいて、前記内視鏡本体の前記光学系に関する光学情報を入力する光学情報入力手段と、前記体腔内の断層画像を表示可能な所定の医療観察装置で得られた断層画像信号を入力する断層画像信号入力手段と、前記光学情報入力手段からの前記光学情報に基づいて前記断層画像信号入力手段からの前記断層画像信号を処理し、前記内視鏡本体の前記光学系で得られる観察画像に対応した断層画像信号を得る断層画像信号処理手段と、を具備したことを特徴とする。